

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	公民	公共	全	2	公共(東京書籍)	テーマ別資料 公共2026(とうほう) 公共 ワークノート(東京書籍)
学習の到達目標	<p>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生きる国民権をなす公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを身に付ける。</p>					
学期	月	単元	学習内容	到達目標		
前期	4月	第1章 青年期を生きる私たち	1 青年期における自己形成	・青年期の特徴やアイデンティティの確立などについて理解し、青年期に生きる自己形成の課題について考察する。		
			2 キャリア開発と社会参画	・現代社会を生きるうえでの課題や、キャリア開発の意義などについて理解し、キャリア開発や社会参画の視点から、シティズンシップの意義について考察する。		
		第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方	3 個人として尊重しあう人間	・自己の幸福の追求と他者とのかかわりについて考え、幸福追求が個人の尊重に帰着することを理解し、人間を個人として尊重する意味を、カントやJ.S.ミルの思想を通して考察する。		
			4 公共的な空間をつくる人間	・公共的な空間について理解するとともに、アーレントの「活動」やハーバーマスの「コミュニケーション的理性」の意義について理解し、公共的な空間での行為の異議を、和辻哲郎の「間柄」の考え方から理解する。		
	5月	第3章 公共的な空間における倫理	6 功利主義と幸福の原理	・行為選択の理由づけについて目的論と義務論の考え方があること、また、目的論にかかわって功利主義と徳倫理学の考え方を理解する。		
			7 義務論と公正の原理	・義務論について、カントの「道徳法則」や「自律」の意味を中心に理解する。不公正の是正について、ロールズやセンの考え方を理解する。		
		第4章 公共的な空間における基本的原理	8 公共的な空間における協働	・社会において利害調整が必要であることや、協働の利益をそごなう「囚人のジレンマ」を回避することが必要であることを理解する。		
			9 民主主義の原理	・民主主義について、国民権の観点から理解し、多数決や熟議の意義について考察する。		
	6月	第1章 民主政治と私たち	10 立憲主義の原理	・法の支配や立憲主義の成立と意義などについて、イギリスやフランスの市民革命と関連づけて理解し、憲法の役割について考察する。		
			11 人権保障の原理	・基本的人権の意味や、自由権、社会権、「新しい人権」へと、人権保障が発展してきたことを理解し、その広がりについて考察する。		
		テーマ1 民主政治と政治参加	12 日本国憲法の理念	・日本国憲法の三つの基本原理について、それぞれの具体的内容を理解し、立憲主義と権力分立の意義やその最高法規性について考察する。		
			13 私たちの民主政治	・身近に存在する政治に気づくとともに、民主主義にかかわる制度や活動について、実際の事象と関連づけて理解し、その課題を考察する。		
14 地方自治のしくみと役割			・地方自治の本旨としくみなどについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
15 国会のしくみと役割			・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営、内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
7月	第2章 法の働きと私たち	16 内閣のしくみと役割	・政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。また、民主政治における政党、利益集団、NPOの役割、世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		17 政治参加と選挙	・政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。また、民主政治における政党、利益集団、NPOの役割、世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
	テーマ2 法や規範の意義と役割	18 政党と利益集団	・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義、法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題などについて、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。			
		19 メディアと世論	・私法の三つの原則、契約における意思能力および行為能力、未成年者の契約に関する原則、故意や過失による不法行為への責任などについて、実際の事象と関連させて理解する。			
後期	7月	テーマ3 国民の司法参加	20 法と社会規範の役割	・契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正、消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会の形成などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			21 法の成立と適用	・司法権の独立の意義、三審制などの裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
		第3章 経済社会で生きる私たち	22 私法の原則	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、経済活動のグローバル化、企業の種類や活動、株式会社のしくみ、企業の社会的責任などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			23 多様な契約	・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割、経済活動の大きさを示すさまざまな指標、経済成長とその要因、景気変動と物価などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
	10月	テーマ4 国民の司法参加	24 消費者の権利と責任	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利、中央銀行の役割と金融政策などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			25 司法のしくみと役割	・財政の機能と財政政策、財政のしくみと租税法律主義、租税の種類と課税の原則、国債の役割、財政問題などについて、実際の事象と関連づけて理解し、財政問題の解決の方向性について考察する。		
		テーマ5 現代の経済と市場	26 刑事司法と司法参加の意義	・社会保険の意義と歴史、日本の社会保険制度、少子高齢化の進展、社会保険制度の現状と課題、福祉社会の実現に向けた課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			27 私たちと経済	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
	11月	テーマ6 市場経済における金融の働き	28 現代の企業	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			29 市場経済のしくみ	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
		テーマ7 財政の役割と持続可能な社会保障制度	30 国民所得と経済成長	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			31 金融のしくみと働き	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
12月	第4章 私たちの職業生活	32 中央銀行の役割と金融環境の変化	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		33 財政の働き	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
	テーマ8 働くことの意味と職業選択	34 財政の課題	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		35 社会保障の考え方	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
1・2月	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	36 社会保障の課題とこれから	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		37 働くということ	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
	テーマ9 労働者の権利と雇用・労働問題	38 多様な職業選択	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		39 労働者の権利	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
1・2月	テーマ10 国際社会のルールとしくみ	40 現代の雇用・労働問題	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		41 国際社会の成り立ち	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
	テーマ11 国際社会と平和主義	42 国際社会の役割	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		43 日本の平和主義と冷戦	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
1・2月	テーマ12 国際平和への課題	44 冷戦後の世界と日本	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		45 現代の紛争とその影響	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
	テーマ13 グローバル化する国際経済	46 平和な国際社会に向けて	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
		47 貿易のしくみ	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。			
第3部	1・2月	持続可能な社会づくりに参画するために	48 国際金融のしくみと動向	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			49 グローバル化と今日の国際経済	・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。		
			探究活動	現代の諸課題について、探究のための課題を設定し、解決に必要な情報の収集・分析・考察を行い表現する。		